



平成30年9月14日 立川市広報課

送付文書 計3枚

報道機関 各位

市民企画講座「日本の環境問題を考える」を開催します

たちかわ市民交流大学では、市民企画講座を開催しております。

私たちの生活に影響を与える環境問題について学び、みんなで考えます。

取材ならびに記事掲載のほど、よろしく願いいたします。

記

1. 講座 「日本の環境問題を考える」
2. 対象 一般市民（市外在住の方も可）
3. 日時 平成30年10月13日、12月15日（土）（全2回）
午後2時～4時
4. 場所 高松学習館
5. 講師 瀬戸 昌之さん（東京農工大学名誉教授、日本環境学会会長）
6. 定員 30人（申込順）
7. 費用 無料
8. 保育 あり（1歳～学齢前、事前申込み）
9. 申し込み 高松学習館（TEL 042-527-0014）
申し込み受付時間 午前8時30分～午後5時15分（月曜～土曜）

※別添チラシをご参照ください。

【問い合わせ】立川市生涯学習推進センター 担当：山口 智子

TEL 042-528-6872

日本の環境問題を考える

環境問題を追求してゆけば、必ず人間活動、ひいては、社会のあり方の問題に突き当たります。
持続的な社会の構築に向けて環境問題を一緒に考えてみましょう。



・講師：^{せと}瀬戸 ^{まさゆき}昌之さん

【東京農工大学名誉教授・日本環境学会会長
立川市羽衣町在住】

○第1回：『足もとと宇宙から地球を考えよう』

◇期日：平成30年10月13日（土） 14：00～16：00

- ・地球の姿、生物と人の歴史について思いをはせてみましょう…
- ・「人は社会や自然環境とどのように関わっているのか」を一緒に考えてみましょう…

○第2回：『持続的で公正な社会に何が必要か —農山村こそ環境の主役—』

◇期日：平成30年12月15日（土） 14：00～16：00

- ・みんなが共有できる社会や自然環境は「持続的で公正」な環境です。
- ・これを支えているのが「農林業」。しかしながら日本の農山村は消滅に向かっています。農山村や都市の何が問題かを一緒に考えてみましょう…

- ・[会場]：高松学習館・第1教室
- ・[申込]：高松学習館（042-527-0014）まで [9月11日（火）～]
- ・[定員]：30人（申込順） ・[保育]：あり（事前申込み・1才～学齢前）
- ・[受講料]：無料



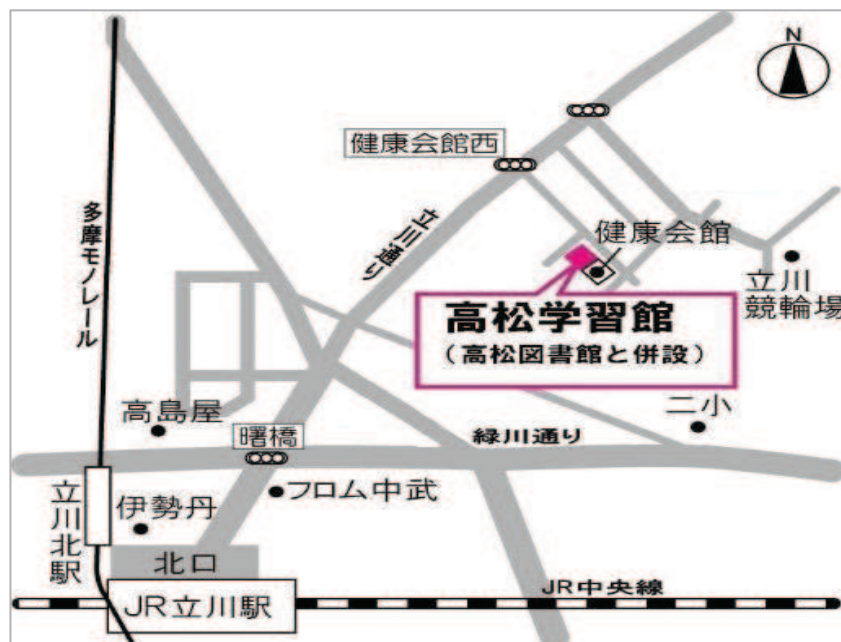
たちかわ市民交流大学・市民推進委員会 主催

[きらきら☆カード対象講座]

【講師の紹介】

○ 瀬戸 昌之さん

- ・ 現在：東京農工大学名誉教授・日本環境学会会長・立川市羽衣町在住
- ・ 著書：
 - ・ 持続社会への環境論（有斐閣）2009年
 - ・ 環境微生物学入門—人間を支えるミクロの生物—（朝倉書店）2006年
 - ・ 持続可能で豊かな社会を展望する（秋山財団ブックレット）2006年
 - ・ 環境学講義 環境対策の光と影（岩波書店）2002年
 - ・ 生態系 人間存在を支える生物システム（有斐閣）1992年など
- ・ 身近な研究テーマ：
「多摩川の汚濁と流域の重金属分布」など



【会場へのご案内】

- (1) JR 立川駅北口より徒歩 15分
 - (2) 多摩都市モノレール立川北駅より
徒歩 15分
- *受講者専用の駐車場はありません。